

組織委員会結成挨拶文

本日はご繁忙中にもかかわらずご臨席を賜り、また日頃JBCの業務に対しまして深いご理解とご協力をいただいておりますこと、併せて感謝申し上げます。

さて昨年韓国での第84回WBA総会におきまして本年度の東京総会が内定され、3月の実行委員会で正式に承認されましたこと、ご報告申し上げます。

ご存じのとおりWBAは1921年に全米ボクシング協会として設立された、世界でもっとも歴史のある認定団体です。わが日本ボクシング界とのかかわりも1952年4月、JBCがこの全米協会に参加の手続きをとり、翌5月世界フライ級タイトルマッチ、白井義男 対 ダド・マリノ戦の管理に当たるようになって以来、54年の長きにわたります。

総会は、世界各地のボクシング統括組織の代表、試合に関与するプロモーター、マネージャー、審判、ドクター、マスコミなど多くの関係者が出席して、公正な試合運営・管理、ボクサーの健康管理、世界タイトルの承認、世界ランキングの決定などを行う、ボクシングに関する最高の意志決定機関であります。

このたび2002年の第40回WBC東京総会に次ぐ2度目の世界総会を開催するにあたり、ここに組織委員会を結成し、本日もご臨席の皆様にご協力をお願い申し上げる次第でございます。尚、細目につきましては、実行委員会の各委員会において、検討させていただく予定でございます。詳細は、この後、斎藤専務理事よりご説明させていただきます。

最後になりますが、WBA 東京総会開催のご協力を重ねてお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

財団法人 日本ボクシングコミッション
コミッショナー 林 有厚